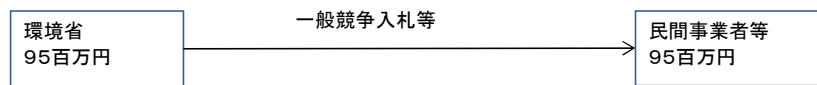


平成25年行政事業レビューシート (環境省)

事業名	アジア保護地域イニシアティブ構築推進事業		担当部局庁	自然環境局	作成責任者		
事業開始・終了(予定)年度	平成25年度～		担当課室	国立公園課	課長 鳥居 敏男		
会計区分	一般会計		政策・施策名	5. 生物多様性の保全と自然との共生の推進 5-1 基盤的施策の実施及び国際的取組			
根拠法令 (具体的な条項も記載)	-		関係する計画、通知等	生物多様性国家戦略2012-2020 第1部第4章第2節4、第3部第2章第7節1			
事業の目的 (目指す姿を簡潔に。3行程度以内)	平成25年11月に仙台で「第1回アジア国立公園会議」を開催、平成26年11月にオーストラリアで開催される「第6回世界国立公園会議」における情報発信等を通じ、保護地域の面積拡大や管理水準の向上におけるアジアにおける取組においてリーダーシップを発揮し、国際的な発言力を高めるとともに、人と自然が共生するという日本を含むアジア地域の考え方を積極的に発信する。 また、アジア地域を中心とする海外からの我が国の国立公園への訪問者の増加につなげ、観光立国の推進や東日本大震災からの復興にも貢献する。						
事業概要 (5行程度以内。別添可)	「第1回アジア国立公園会議」を平成25年11月に仙台市において開催し、アジアの文化・伝統・知見などを近代的な保護地域制度に活かすための考え方を示す「アジア保護地域憲章」を定めるなどの成果をまとめる。 また、平成26年11月にオーストラリアで開催される「第6回世界国立公園会議」において、「アジア保護地域憲章」をはじめとする「アジア国立公園会議」の成果を発表するとともに、「人々の暮らしへの支援」というテーマのもと、「保護地域を活用した自然災害からの復興や減災」についての議論を主導する。 さらに、アジア各国の保護地域所管部局及び保護地域に係る国際機関・NGO等の連携のための枠組みである「アジア保護地域パートナーシップ(仮称)」の構築を進める。						
実施方法	<input type="checkbox"/> 直接実施 <input checked="" type="checkbox"/> 委託・請負 <input type="checkbox"/> 補助 <input type="checkbox"/> 負担 <input type="checkbox"/> 交付 <input type="checkbox"/> 貸付 <input type="checkbox"/> その他						
予算額・執行額 (単位:百万円)	予算 の 状 況	当初予算	22年度	23年度	24年度	25年度	26年度要求
		補正予算				96	33
		繰越し等					
		計				96	33
	執行額						
	執行率 (%)						
成果目標及び成果実績 (アウトカム)	成果指標		単位	22年度	23年度	24年度	目標値 (25年度)
	成果実績			-	-	-	-
	達成度		%	-	-	-	
活動指標及び活動実績 (アウトプット)	活動指標		単位	22年度	23年度	24年度	25年度活動見込
	活動実績			-	-	-	-
	(当初見込み)		()	()	()	()	
単位当たりコスト	-		算出根拠	-			
平成25・26年度 予算内訳	費目	25年度当初予算	26年度要求	主な増減理由			
	職員旅費	1	0.3	平成26年度は「世界国立公園会議」での情報発信・議論の主導、「保護地域を活用した自然災害からの復興や減災」の専門家ワークショップ開催、アジア保護地域パートナーシップの内容検討を行うために必要な経費を計上			
	環境保全調査費	95	33				
計	96	33					

事業所管部局による点検						
	項目		評価	評価に関する説明		
国費投入の必要性	広く国民のニーズがあるか。国費を投入しなければ事業目的が達成できないのか。		○	生物多様性条約COP10で決定した愛知目標を世界的に実現するために、国立公園等の保護地域に関する国際連携を進めるものであり、「生物多様性国家戦略2012-2020」にも位置づけられている、国が実施すべき優先度の高い事業である。また、アジア各国の国立公園等の管理に関わる行政機関を集めて行う会議であり、国が実施することが必要。		
	地方自治体、民間等に委ねることができない事業なのか。		○			
	明確な政策目的(成果目標)の達成手段として位置付けられ、優先度の高い事業となっているか。		○			
事業の効率性	競争性が確保されているなど支出先の選定は妥当か。		○	支出先の選定にあたっては、一般競争入札等で行う予定であり、競争性は確保される。		
	受益者との負担関係は妥当であるか。		○			
	単位当たりコストの水準は妥当か。		-			
	資金の流れの中間段階での支出は合理的なものとなっているか。		-			
	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。		○			
	不用率が大きい場合、その理由は妥当か。(理由を右に記載)		-			
事業の有効性	事業実施に当たって他の手段・方法等が考えられる場合、それと比較してより効果的あるいは低コストで実施できているか。		-	平成23年度に開催された「アジア国立公園会議準備会合」の結果等を踏まえ、取組を進めているものであり、過去の成果物を活用したのとなっている。		
	活動実績は見込みに見合ったものであるか。		-			
	整備された施設や成果物は十分に活用されているか。		○			
重複排除	類似の事業がある場合、他部局・他府省等と適切な役割分担を行っているか。(役割分担の具体的な内容を各事業の右に記載)		-	当該事業は、環境省が所管する国立公園を中心とした保護地域に関する国際会議の開催、情報発信を行うものであり、他部局・他省庁の事業との重複はない。		
	事業番号	類似事業名	所管府省・部局名			
	-	-	-			
点検結果	-		-	本事業は、我が国が議長を務めた生物多様性条約第10回締約国会議で採択された愛知目標の達成に資する重要な活動であり、また、外客誘致にもつながら観光立国や三陸復興にも資するものであることから、我が国として優先的に取り組むべき事業である。		
	-		-			
外部有識者の所見						
行政事業レビュー推進チームの所見						
所見を踏まえた改善点/概算要求における反映状況						
備考						
関連する過去のレビューシートの事業番号						
平成22年	-	平成23年	-	平成24年	-	-

※平成24年度実績を記入。執行実績がない新規事業、新規要求事業については現時点で予定やイメージを記入。



資金の流れ
(資金の受け取り先が何を
しているかについて補足する)
(単位: 百万円)